

# まつぼっくり



宇城市立三角小学校  
学校だより 第27号  
文責 校長 西村羊治  
令和7年7月14日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」  
～当たり前のことをきちんとやる人材育成をと～

授業参観

## お世話になりました！

7月11日(金)、宇城市教育委員会の学校訪問がありました。教育長・教育委員はじめ13名に来校いただき、授業参観、諸表簿閲覧等でお世話になりました。ご指導いただいたことは、児童の健全育成のため真摯に受け止め、今後の学校経営に活かしていきます。また、教育委員の方から「授業を参観して、あったかい雰囲気を感じました。子ども達と先生との濃い信頼関係が築かれているからでしょう。子ども達は全体的に落ち着いて、授業に真剣に取り組んでいました。」「概要説明を聞き、素直な子ども、協力的な保護者や地域がおられることは、互いのコミュニケーションが進んでいるからでしょう。さらに進めてください。」「それぞれの学年が、全体的に落ち着いておりいい雰囲気でした。子どもの机の配置や先生との距離感もよいものを感じました。1年生の広い机もいいですね。」「先生方の日頃の努力の跡を感じることができました。」等の言葉をいただきました。また、教育長からは、「子ども達の多様性に丁寧に対応し、子どもと教師との深い関係性が見られた、さらにOJTを活用した人材育成やチーム三角小として教師集団の力をさらに向上させて欲しい、また今回の半日の学校訪問が、気持ちよく過ごせた」と話してくださいました。校長としてありがたく、本校を子ども達にとってさらに安心・安全・安定した学校にしていきたいと思いました。市教育委員会の皆様、本当にありがとうございました。



校長室で日程説明



平岡教育長講話



## 貴重な時間！

11日(金)午後、三角防災拠点センターに全校児童で移動し、教育長の平岡和徳先生の講演会を行いました。13:20から15:00ぐらいの時間でしたが、低学年も行儀よく話を聞きました。6年生のふるさと三角の将来やNHK合唱コンクールの発表、休憩をはさみ「『年中夢求』～24時間をデザインする～」という演題で講話を聞きました。参加人数は、児童、保護者、地域の方等、計250人超でした。

低学年から高学年、また保護者や地域の方と広範囲に及ぶ年齢層を考慮し、ユーモアや動画を織り交ぜながらわかりやすく楽しいお話でした。平岡先生は、幼少期サッカーや書道に打ち込んだこと、夢をもち実現することの体験談、大津高等学校の自主練習動画、ゴールを示すと人は頑張れる、目と耳を使いよく観てよく聴くことの大切さ、いつも考える考動力、24時間は有限だが使い方は無限である、変化の先にしか成長はない、チャレンジをエンジョイに変える、やらされるから夢中になるに変える、心技体は掛け算で心が0なら技術や体力があってもダメであること、過保護は心や体の成長にブレーキをかけてしまうこと、やらされる100回よりやる気の1回、失敗することが恥なのではなく失敗を認めないことが恥である、苦しいときこそ前進している時である、「ありがとう」「おはようございます」などの言葉配り心配りがチーム力を向上させる、ピンチは新しいものを創り出すチャンス、笑顔は人の力を引き出し奇跡を起こす等、たくさんのすばらしい言葉とエネルギーをいただきました。



100人を超す保護者・地域の方

講演後、地域の方々から「ありがとうございました。とてもいいお話を聞けて良かったです。」「大変勉強になりました。」等の声がありました。地域や保護者の方々にとっても有意義な時間になったようです。とても嬉しいことでした。平岡和徳先生、参加してくださった方々、本当にありがとうございました。